

CSRのあゆみと主な取組みのインパクト

CSRのあゆみと主な取組みのインパクト



当社グループは、時代の変遷とともにCSRの取組みを深化させてきました。
主な取組みについて現在までのインパクトをまとめています。

▼ あゆみ ▼ 主な取組みのインパクト

あゆみ

◇は社会の動きを示します。

- 1965 「黄色いワッペン」贈呈事業開始
- 1976 (財)安田火災美術財団(現:(公財)損保ジャパン日本興亜美術財団)設立
東郷青児美術館(現:東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館)開館
- 1977 (財)安田火災記念財団(現:(公財)損保ジャパン日本興亜福祉財団)設立
- 1987 《ひまわり》(ゴッホ)一般公開開始
- 1989 人形劇場「ひまわりホール」(名古屋)を開設
- 1990 「地球環境室」を設置
- 1991 (財)日本興亜福祉財団(現:(公財)損保ジャパン日本興亜福祉財団)設立
- 1992 ◇リオ・デ・ジャネイロで「環境と開発に関する国連会議(地球サミット)」開催、安田火災(現:損保ジャパン日本興亜)の社長が、経団連ミッションの団長として参加



- 1993 「市民のための環境公開講座」開始
役職員のボランティア組織を発足
ボランティア休暇・休職制度導入
- 1995 国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）「保険業界環境声明」に署名
- 1996 役職員有志による社会貢献ファンド開始
- 1997 ISO 14001（環境マネジメントシステム）認証取得（国内金融機関初）
- 1998 「環境レポート」発行（国内金融機関初）
ISO 14001 認証取得コンサルティング開始
森林整備活動を開始
- 1999 （財）安田火災環境財団（現：（公財）損保ジャパン日本興亜環境財団）設立
エコファンド『ぶなの森』運用開始
- 2000 「CSOラーニング制度」開始
- 2002 ◇ヨハネスブルグ「持続可能な開発に関する世界首脳会議」開催
「持続可能な発展のための世界経済人会議（WBCSD）金融セクター声明」署名
「第1回CSRステークホルダーミーティング」開催
- 2004 SRIファンド『未来のちから』運用開始
BCM（事業継続マネジメント）コンサルティング開始
- 2005 （株）ヘルスケア・フロンティア・ジャパン（現：SOMPOヘルスサポート（株））設立
「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト（現：CDP）」参加
NPO基盤強化資金助成開始
- 2006 国連グローバル・コンパクト（UN GC）に参加
責任投資原則（UN PRI）に署名
大学における寄付講座を開始
- 2007 （株）損保ジャパン・ヘルスケアサービス（現：SOMPOヘルスサポート（株））設立
- 2008 損保ジャパン東郷青児美術館（現：東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館）にて「対話による美術鑑賞教育」開始
「カーボン・ニュートラル宣言」を発表
「エコ安全ドライブコンテスト」開始
環境大臣から「エコ・ファースト企業」に認定
- 2009 自動車保険に「Web型約款」導入
- 2010 NKSJホールディングス（現：SOMPOホールディングス）の誕生
「NKSJグループの考えるCSR（CSR基本方針）」制定（現：グループCSRビジョン）
（財）損保ジャパン記念財団（現：（公財）損保ジャパン日本興亜福祉財団）がASEAN加盟国で海

外助成を開始

テネット〈シンガポール〉を連結子会社化

タイで『天候インデックス保険』取扱い開始

◇名古屋「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」開催

「生物多様性民間参画パートナーシップ」に参加

生物多様性コンサルティング開始

◇ISO 26000（社会的責任の国際規格）発行

フィバシゴルダ〈トルコ〉を連結子会社化

2011 ◇東日本大震災の発生

国内外のグループ会社の環境・社会・ガバナンス（ESG）情報収集開始

損保ジャパン日本興亜（中国）がCSRレポート（中国語）発行開始

生物多様性保全プログラム「SAVE JAPANプロジェクト」開始

（公財）損保ジャパン環境財団（現：（公財）損保ジャパン日本興亜環境財団）「環境問題研究会」にて気候変動の「適応」に関する研究開始

（一財）日本興亜スマイルキッズ（現：（一財）損保ジャパン日本興亜スマイルキッズ）設立
ベルジャヤ〈マレーシア〉を連結子会社化

「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則（21世紀金融行動原則）」にグループ会社10社（現：7社）が署名

NKSJボランティアデー（現：SOMPOホールディングスボランティアデー）開催開始

2012 グループのCSR「5つの重点課題」策定

（株）プライムアシスタンスを設立、アシスタンス事業に参入

「女性のエンパワーメント原則（WEPs）」に署名

◇リオ・デ・ジャネイロ「国連持続可能な開発会議（リオ+20）」開催

持続可能な保険原則（UN PSI）に署名

（株）シダーの株式を一部取得し、介護サービス事業に参入

ISO 39001（道路交通安全マネジメントシステム）を世界で初めて認証取得

2013 「地域貢献ecoプロジェクト（現：地域貢献プロジェクト）」開始

カーボン・ニュートラルを達成

マリチマ〈ブラジル〉を連結子会社化

2014 「グループCSRビジョン」「グループ環境ポリシー」「グループ人間尊重ポリシー」「グループ

CSR6つの重点課題（現：グループCSR重点課題）」策定

グループCSR-KPI策定

日本版ステewardシップ・コードに署名

東日本大震災復興支援 特別公開 ゴッホの《ひまわり》展の開催

防災ジャパングプロジェクト開始

インドネシアでの交通安全プロジェクト、ミャンマーでの母子保健プロジェクト開始

フィリピンで台風ガード保険取扱い開始

大手介護事業者（株）メッセージとの資本・業務提携

2015 （株）フレッシュハウスを子会社化し、住宅リフォーム事業に参入

天候インデックス保険が国連開発計画が主導する「ビジネス行動要請（BCtA）」に認定

◇2030年に向けた「持続可能な開発のための目標（Sustainable Development Goals;SDGs）」が国連サミットで採択

◇国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）での「パリ協定」が採択
企業向け安全運転支援サービス『スマイリングロード』の全国展開、個人向けスマートフォン用アプリ『ポータブル スマイリングロード』の提供開始
ワタミの介護（株）（現：「SOMPOケアネクスト（株）」）の完全子会社化など、介護市場における取組みを強化・加速
（株）プロダクト・ワランティ・ジャパン（現：SOMPOワランティ（株））を子会社化し、延長保証事業に参入

- 2016 国内全グループ会社を適用範囲としたISO 14001 認証取得
損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント（株）、（株）全国訪問健康指導協会、損保ジャパン日本興亜ヘルスケアサービス（株）の3社が合併しSOMPOリスクアマネジメント（株）誕生
グループCSR重点課題の見直し
2020年度を最終年度とする中期経営計画を発表
文化・芸術の取組み「SOMPOパラリンアート・サッカーアートコンテスト」、「SOMPOアート・ファンド」開始
損保ジャパン日本興亜が「女性が輝く先進企業表彰」で「内閣総理大臣表彰」受賞
- 2017 グループ会社5社が「健康経営優良法人2017（ホワイト500）」に認定
【東京藝術大学×SOMPOホールディングス】産学連携プロジェクトDiversity on the Arts Project（愛称：DOOR）開始
事業オーナー制を導入
- 2018 【東京藝術大学×SOMPOケア×SOMPOホールディングス】『アーティスト・イン・そんぽの家S 王子神谷』の開始
TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）へ賛同

主な取組みのインパクト

「黄色いワッペン」贈呈事業（1965年～） **6,650万枚**

全国の小学校新入学1年生に対して、交通事故傷害保険付きの「黄色いワッペン」を贈呈しています。これまでの累計贈呈枚数は2019年4月で約6,650万枚になりました。



東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館（1976年～） **593万人**

ゴッホの《ひまわり》をはじめ、ゴーギャン、セザンヌ、東郷青児、グランマ・モーゼスの作品を常設展示しています。2019年3月には累計入館者数が約593万人となりました。



福祉団体への助成（1977年～） 19億1,239万円

損保ジャパン日本興亜福祉財団では、社会福祉の最前線で活躍する団体などに対する助成を行っています。2018年度末で累計2,957件、19億1,239万円を支援しました。



介護福祉士を目指す学生への奨学金の支給（1992年～） 1億9,239万円

損保ジャパン日本興亜福祉財団では、介護福祉士人材の育成を図ることを目的として介護福祉士を目指す学生に奨学金を支給しています。2018年度末で累計278人に奨学金を支給し、総額1億9,239万円を支援しました。



市民のための環境公開講座（1993年～） 21,791人

（公社）日本環境教育フォーラム、損保ジャパン日本興亜環境財団、損保ジャパン日本興亜の三者共催で、環境問題を深く考え、具体的な活動を実践することを目的として開催しています。2018年度末で累計21,791人の方々に参加いただいています。



エコファンド『ぶなの森』（1999年～） 約248億円

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントが運用するエコファンド『ぶなの森』は環境経営度に優れた日本企業に投資しています。2019年4月末時点の純資産総額は約248億円にのびます。



CSOラーニング制度（2000年～） 1,069人

損保ジャパン日本興亜環境財団は、環境分野の人材育成に取り組み、大学生・大学院生を環境NPO/NGOへインターンシップ派遣を行う「CSOラーニング制度」を実施しています。参加者は2018年度末で累計1,069人となりました。



自動車保険などに「Web型約款」を導入（2009年～） 5,476万件

お客さまの利便性向上と環境負荷削減の一環として、自動車保険の約款などを、紙に替えてホームページでご確認いただく仕組みを導入しています。2015年10月1日始期契約より、個人用火災総合保険でもWeb型約款を導入し、両保険で、累計5,476万件以上のご契約で選択いただきました。



東日本大震災発生—継続的な復興支援（2011年） 3,000人

震災発生後、3,000人を超える社員を現地へ応援派遣し、迅速な保険金支払いに従事しました。変化する現地ニーズにあわせ、現在も継続的な復興支援に取り組んでいます。



SAVE JAPAN プロジェクト（2011年～） 42,833人

環境NPOなどと協働で市民参加型の生物多様性保全活動を行う「SAVE JAPAN プロジェクト」を全国で実施しています。2019年3月までに延べ808回のイベントを開催し、42,833人の方々にご参加いただきました。



SOMPOホールディングスボランティアデー（2011年～）

累計78,285人

毎年、グループ社員の社会貢献マインド向上や被災地への継続的支援などを目的として開催しています。東日本大震災復興支援や福祉、環境などさまざまな活動が行われており、累計78,285人の国内外グループ社員が参加しています。



インドネシアでの交通安全プロジェクト（2014年～）

30,000人以上

当社とPT Sampo Insurance Indonesiaは、子ども支援専門の国際組織である（公社）セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと協働で、西ジャワ州バンドン市の小・中学生を対象に、交通安全教育および現地行政と連携した学校周辺の交通安全設備の整備推進、子どもの交通安全に関する社会啓発活動を行っています。これまでに30,000人以上の方に参加いただきました。



© Save the Children in Indonesia

防災ジャパングプロジェクト（2014年～）

累計39,975人

災害から身を守るための知識や安全な行動を理解していただくことを目的に、パペットシアターゆめみトランクとNPO法人プラス・アーツと協働で、「防災人形劇」および「体験型防災ワークショップ」を、将来を担う子どもたちとその保護者を対象に実施しています。2019年3月末時点で、全国で延べ255回開催し、毎年1万人を超える市民の皆さまに参加いただいています。



認知症サポーター「キャラバン・メイト養成研修」（2016年～）

14,404人

■

当社グループは、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターを社内で効果的に育成する「キャラバン・メイト養成研修」を開講しています。研修を受けたキャラバン・メイトが、各職場において「認知症サポーター」の育成を行うことで、ご高齢の方、認知症の方へ配慮した対応ができるグループとなれるよう取り組んでいます。

※ SOMPOホールディングスグループの役職員および損保ジャパン日本興亜の保険代理店従業員の認知症サポーターおよびキャラバン・メイトの合計人数は、2019年3月末時点で14,404名です。